



駄洒落ばかり言っているのは誰じゃ！

観音様
米倉さん(引接寺)には負けました！・・・U田



引接寺 / 越前市 (旧武生市) 関連記事 2 ~ 3 P

活動報告

4月1日

福鉄低床型車両発車・オープニングセレモニー
越前市きまま旅 / ラピュタ創造研究所との懇談会

4月15日

福井市市民活動助成事業成果発表会
臨時理事会

今後の予定

4月21日(金) 月例会

4月28日(金)

富山ライトレール開業記念フォーラム

4月29日(土) ROBA北陸きまま旅富山
富山ライトレール開業

5月 3日(水) 軽快都市宣言 part

5月 5日(金) ライトレール試乗と岩瀬まち
なか探検・フォーラム

5月 6日(土) かなざわ都市圏の近未来交通
を考えよう・講演: 服部重敬

ゆうじんの部屋 書籍紹介

日本の”珍々”踏切 フミキリスト編

伊藤博康監修 東邦出版

1500円+税 ISBN4-8094-0423-4 C0072

その名の通り珍しい踏切踏切のところで道路がV字型に分かれていたり、踏切を斜めに跨いで架線門柱があったり)のオンパレードである。前々職が踏切退治であったから、立体化の陳情を受けていた開かずの踏み切りもいくつか出てきて懐かしい。読みもとのして楽しむには十分な本である。一気に読み終えることができた。

開かずの踏切が残っているのは、まちづくり、歴史、地形など様々な要因があるのであるが、本の内容とは別であるが、踏み切りの遮断時間を延ばしても鉄道会社は何も罰金を払う必要がないし、減らしてもなにもご褒美をもらえない。それが問題の一旦である。賢い踏切事業が成功することを願っている。

美濃部 雄人 Minobe Yujin

発車式典

名鉄からの移籍車両は中古車とはいっても新造から数年しか経っていないものもあり、歴戦のつわものが多い福鉄の車両の中にあっては新車も同然で、しかも従来の福鉄車両に比べて床が低く乗り降りしやすいものになっています。それらの車両の一部は、昨年の中部地区路面電車サミットや国民文化祭のときに特別列車としてお目見えしてはいましたが、これからは主戦力として福鉄で日夜働いてもらうことになります。

武生新駅では、新聞などでの事前広報がなかったにもかかわらずホームに鉄道ファンがたくさん詰めかけていました（みんなどこで情報を知ったの？）。駅には鉄道友の会による福鉄今昔写真パネルが展示してあったり、福鉄バスガイドさんたちによる記念品の販売があったりと祝賀ムードにあふれていました。

さて、いよいよ新型車両の発車式の時間を迎えます。鉄道関係者、地元商工会、沿線自治体関係者ら来賓による祝辞のあと、ROBAも祝電を送ってささやかではありますが式典を盛り上げます。来賓によるテープカットの後、沿線住民を乗せた夢の一番列車が出発です。電車が動き出すと期せずして拍手が沸き起こり、福鉄の新たな門出をみんなで祝いました。その後も800型などの新型車両が、鉄道ファンらを乗せて武生新駅をあとにしました。

越前市(旧武生市街地)まちめぐりツアー

しばし祝賀ムードの余韻に浸った後、越前市のまちづくりNPOラピユタの竹本さんと井上さんのご二人の案内で、旧武生市街地のまちめぐりを楽しみました。

武生は奈良時代から越前の国の国府があったところで、その歴史は福井市をはるかに上回る“越前最古の都市”といえます。それに、戦災・震災・大規模な火災による都市全体の消失をほとんどしていないこともあり、まちのあちこちに「町家」といわれる古民家が残っていて、お城こそ現存していないものの古い城下町のたたずまいを感じることができます。北陸街道も市の中心部を通っており、市内には道路の真ん中に上水(今で言うところの水道)が心地よいせせらぎとなって流れている地区も残されています。

奈良時代に建立された国分寺をはじめとする古い社寺も旧市内の西側を中心に点在しており、まちめぐりツアー一行はその中の引接寺(いんじょうじ)におじゃまをして、寺守りをされている米倉さんに寺内を詳しく案内していただくことができました。そこには、鯉のぼりの伝承を表現した欄間のある山門、朝倉時代からある笏谷石の仏像や、江戸時代に作られた大仏(観音様)など、数々の文化財が残されていて大変貴重なものをじかに拝見することができたのです。米倉さんの一言「仏ほっとけ、神構うなというのが今のご時勢です」。



千代鶴の池

引接寺を後にした一行はまちなかの散策をしばらく続けた後、武生の中心部にある町家の蔵を生かして公園にした「蔵の辻」というところに行ってきました。ラピュタの本拠地のすぐ隣にあるこの場所は、通りに母屋があって庭を通る渡り廊下から蔵と続くものが多いので、通りからは一定の距離を隔てて各家の蔵が集まっているという町家の構造を巧みに利用した施設です。



引接寺内にて



映画館（廃館）のチケット



米倉さん（真ん中） / 引接寺



玉座（昭和天皇の休憩所） / 引接寺

ラピュタとのまちづくり談義

その蔵の辻の一角にあるカフェにおじゃまをした一行は、カフェの店内の蔵を改造した風情のある個室の中で昼食をとり、そこでそのまま“まちづくり談義”となりました。

そこでは、ラピュタの方々の目指すまちづくりと、市役所や一般市民との間の“ギャップ”があることが目下の悩みである、と語られました。市役所は何十億もの公金を使って郊外に役所を移転させようとするし、一般市民の中にはビルを次々建てたいという思いが根強くあるというのです。古い町並みを生かしながら工夫を凝らしてまちの活性化を、というラピュタの主張がなかなか受け入れてもらえないと嘆いておられました。

また、「武生菊人形展」の期間中に十万人もの来場者がありながら、ほとんどの人はマイカーで来場し会場周辺の臨時駐車場を利用してしまいうので、魅力にあふれたまちなかを散策することもなく素通りしてしまい、結果的に越前市の旧武生市街地に経済効果が及ばない、ということも悩みの種だそうです。これまでまちづくりの活動に携わってきたけれども、もっと活力あるまちにするためにはマイカー中心の都市計画を改めて、公共交通の利便性を考えに入れた都市計画にしていかなければならない、と認識を深めておられました。

ラピュタもROBAも“まちづくり”をその目的に掲げているNPOなので、互いに共感することもあれば学ぶこともあって、話の種はなかなか尽きることがありません。カフェでまちづくり談義に夢中になっているうちに、気が付けば予定の時刻を30分以上オーバーしてしまいました。

お開きとなって武生新駅まで戻る道中で、ラピュタの方が私たちに語ってくれた熱い思いを感じ取りながら武生のまちを後にした一行でした。



昔市役所前の通りにあった門



蔵の辻



五十嵐康之さんが、甲斐市(山梨県)助役に就任
先月の坂川市長に続きまして、
またまた ROBA 会員の五十嵐さん
(元福井県都市計画課長)が4月
の異動で山梨県甲斐市の助役に就
かれました。全国的に活躍してい
るROBA会員ですが本当に胸を
張って自慢できる朗報です。



五十嵐さんは、福井から異動で国土交通省九州地方整備局海ノ中道海浜公園事務所所長をされていました。この度、合併後の甲斐市の新たな都市計画にあたり、これまでの実績が評価されての抜擢のようです。

こころからお祝い申し上げます。そして、全国の地方都市のお手本となるようなまちづくりを示して欲しいと思います。

会長 内田桂嗣

【新年度のROBA会費の納入をお願いします】

5月21日(日)の総会に参加して納入して下さるか、参加できない方は、同封した郵便振替、あるいは銀行振込でもかまいませんのでよろしくお願いいたします。

**年会費：正会員 3 千円、正会員(学生) 2 千円、
賛助会員 一口 5 千円**

会費振込先：郵便振替 00760-4-51839

ふくい路面電車とまちづくりの会

手数料 100 円(同封の振込用紙だと無料で~す)

銀行振込 福井銀行種池支店 普通 1199640

特定非営利活動法人 ふくい路面電車とまちづくりの会
手数料(いろいろあって高いけど面倒な人はこれで!)

作/漆崎 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「一句/山桜 咲かして知らせる 自分の居場所」

塚谷(編集委員/見習い)

「試験日前日なのに、法事・研修・編集会議とお忙しい・・・」

内田(発行責任者)

「富山がLRTのいい見本! よーく見ましょう!」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail : roba@mbh.nifty.com

URL : <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>